



## 研究テーマ

1 森林樹木の獣害・病虫害防除に関する研究

2 針葉樹人工林の広葉樹林化に関する研究

3 スギ・ヒノキの低コスト再造林に関する研究

## 研究概要

森林の野生鳥獣害や病虫害に関する研究を行っています。また、森林の生物多様性保全に向けて、針葉樹人工林の広葉樹林化に着目し、特に鳥類や野ネズミによる種子散布の研究を行っています。

また、人工林伐採後の再造林における下刈り省略やコンテナ苗の有効性について現地試験を行い、検証・評価しています。

## 1 森林樹木の獣害・病虫害防除に関する研究

シカによる森林樹木の食害やマツ材線虫病による松枯れなど、森林では野生動物や昆虫などによる被害が発生し、自然林・人工林を問わず我が国の森林の存続に対して脅威となることがあります。しかし、それらの中には有効な防除手段が確立していないものもあります。そこで、野生動物や昆虫の生態調査や森林被害発生の要因解明、有効な防除手段の確立に向けた研究を行っています。

## 2 針葉樹人工林の広葉樹林化に関する研究

戦後の拡大造林政策によって造成された針葉樹人工林の一部では、生物多様性の低下に伴う生態系サービスの劣化が問題となっており、これらの針葉樹人工林を広葉樹林に再生する必要が生じています。しかし、針葉樹林内への広葉樹の種子散布については不明な点が多く、技術開発の障壁となっています。そこで、鳥類およびげっ歯類の種子散布行動に着目し、樹木種子の時空間的散布パターンを予測するための基礎データの収集や影響要素を解明する研究を行っています。

## 3 スギ・ヒノキの低コスト再造林に関する研究

低迷する林業を再生し国際的な競争力をもつ産業に発展させるためには、コストの削減が不可欠です。とくに造林および初期保育コストは林業全体のコストの約7割を占めることから、その削減が政策的に重視されています。そこで、近年普及しつつあるスギコンテナ苗の野外植栽試験と下刈りコスト削減に着目した研究を行っています。

## ホームページ

森林緑地環境科学科

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/green/>

## 技術相談に応じられる関連分野

- ・野生動物や昆虫による森林被害の防除
- ・低コスト再造林

## メッセージ

平田 令子

ひらた りょうこ  
農学部

森林緑地環境科学科

准教授

## キーワード

森林保護、鳥獣害、病虫害、種子散布、鳥類、下刈り、コンテナ苗、低コスト再造林

特許情報・  
共同研究・  
応用分野など